



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN

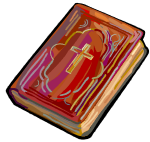


- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
アジア会長主題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
西日本区理事主題 「原点を知り将来に生かす」
中部部長主題 「明るく 清く 美しく -よき隣人として- (Befriending)」
クラブ会長主題 「最後まで全力を」

2023年4月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会長 荒川 文門 副会長 杉山 弘時 書記 都築 正和
会計 小林 滋記 直前会長 荒川 文門 連絡主事 橋本 啓



今月の聖句

しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに
来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。

マルコによる福音書/ 10章 14節

4月例会案内

第一例会

日時：4月11日(火) 19:00~21:00
場所：KKRホテル名古屋
中区三の丸一丁目 (052)201-3326
卓話：「がんと闘う」
講師：大橋洋平氏 (JA愛知厚生連 海南病院医師)
会費：3,000円 (クラブより1,000円負担します。)
第一例会も後3回となりました。今月は親クラブで
ある名古屋クラブの特別例会に参加します。

第二例会

日時：4月20日(木) 19:00~
場所：南山YMCA
・5月プログラム確認
・南山ハーベストクラブ設立に向けての準備

デイキャンプ交流会

日時：4月22日(土) 10:30~15:00
場所：戸田川緑地
参加費：1,000円
申込：4月10日(月)まで

3月第一例会報告

日時：3月9日(木) 19:00~
場所：南山YMCA
出席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾、橋本
(1) 記念例会は無事終了、概ね好評であった。会計も予算内に収まった。
(2) 新クラブ設立に向けての進捗状況を確認。
(3) 4/22のデイキャンプに参加を呼び掛け。

3月第二例会報告

日時：3月16日(木) 19:00~
場所：南山YMCA
出席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾、橋本
(1) 4月発足の新クラブについての確認
・名称は「南山ハーベストクラブ」とする
・現南山クラブメンバーをコアメンバー、その他に20
家族程度のサポート会員を募る。
・サポート会員募集まで日程
4月17日頃 設立案内の掲示
4月24日頃 募集案内の掲示、メール配信
5月14日以降 募集

3月報告	在籍7名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		7名	7名	0名	100%

- ・募集に合わせ、5月農場例会は見学会を兼ねる。
- (2) 4月例会は名古屋クラブ特別例会に参加。
- (3) IBC 関係

名古屋クラブ深谷さんが台北での国際協会設立 100 周年大会に出席し、台北ベータクラブの邱さん他数名のメンバーと会食の機会を持ちました。双方 IBC 関係を結ぶことについて継続して検討することを確認したようです。



2022 年度 名古屋 YMC A リーダー感謝会

2022 年度リーダー感謝会が 3 月 21 日（木）に南山 YMC A で行われました。手作り満載のプログラムで礼拝に始まり 6 名の卒業リーダーへの感謝状授与、現役リーダーによる卒業リーダーの人となり等々動画などを活かして微笑ましいプログラムで、予定の 1 時間半はあっという間に過ぎてしまいました。思い起こせば自分も半世紀少し前当時は「リーダー追い出し会」が開かれお茶菓子等提供され将来の夢などをかたりあった事懐かしく思い出しました。

これから社会の荒波に船出する訳ですが自分もそうであった様に仕事に行き詰まったり、人間関係で思い悩んだりした時 YMC A に来て主事始め職員の方々後輩リーダー達と気兼ねなく会話が出来れば気分も晴れると思います、大いに YMC A を利用してほしいと思います。

卒業リーダーの皆さん本当にお疲れ苦労様でした。
出 席：杉山、都築、橋本



農場報告

昨年末に植えたタマネギが順調に育っています。極早生、早生、晩生と収穫時期に合わせる様に生育のスピードが異なり、畝毎に苗の高さ、緑の濃さが違います。4 月には極早生、5 月の農場例会の頃には早生、その後晩生と今年も農場のシーズンが始まります。



「ちょっと一言」

荒川 文門

今年も桜の季節が来ましたが、今年は少し異常に早すぎるようです。例年なら 3 月 20 日ごろからカタクリ、ショウジョウバカマ、ハルリンドウなどを楽しみ 3 月末から名古屋近郷の桜を楽しみ、4 月に入ると少し遠出をして南信州の一本ザクラを探して 4 月中旬まで過ごし、4 月末には山奥の桜を探しに行くのですが、3 月下旬になる前に名古屋近郷はすでに満開、予定が狂ってしまいます。それでも先日藤岡の昭和の森の水源湿地にハルリンドウとショウジョウバカマを探しに行きました。本来枯草の湿地のようなところに咲く花ですが、今年は緑に囲まれて咲いていました。またカタクリもいつものように鳩吹山へ見に出かけました。でも桜も咲きかけていてちょっと季節感が狂ってしまいます。いつもの年ならちょっと寒い中歩くのですが今年は暑すぎ上着を脱ぎ汗だけで山道歩くのも大変でした。いつもの年と違ったのは気候だけでなく私自身の心の持ち方、体力の衰えを少し感じたことでした。いつもなら天気予報を見ながら翌日の行程を考えるのがとても楽しみでしたが、今年は何となくどうしようかな、行こうかな、面倒くさい、などと考えてしまいます。コロナの後遺症の影響が分かりませんが、少々花粉症気味。杉林の山道は大丈夫なのですが、家にいるとくしゃみ、涙目になります。原因は分かりませんが、結構高齢者には多い症状のようです。それでもやはり桜や草花を探しに出かけなければ春ではないので頑張ってお出かけしようと思う今日この頃です